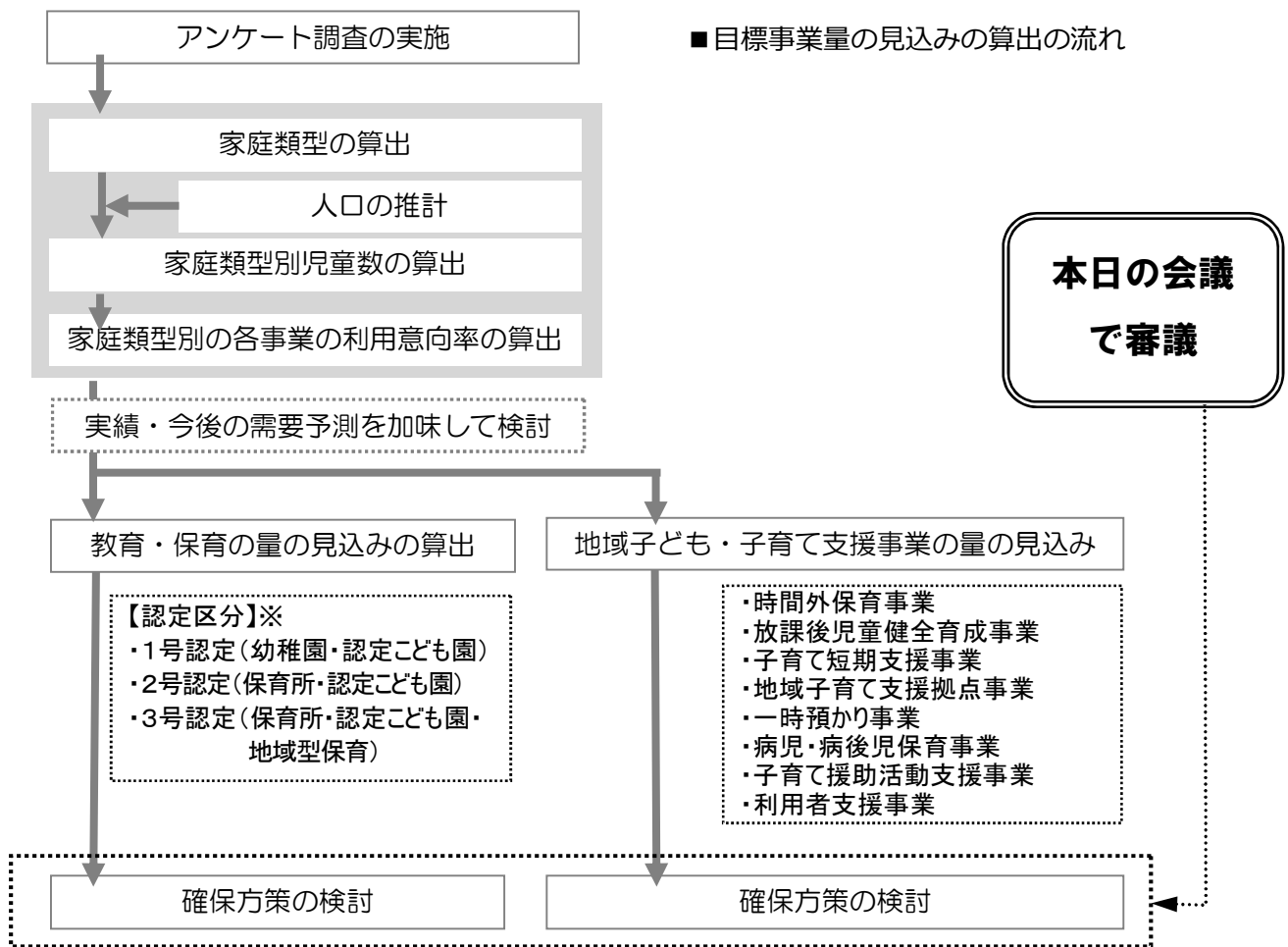


確保の方策について

子ども・子育て支援法では、本計画において、「教育・保育」、「地域子ども・子育て支援事業」を提供する区域を定め、当該区域ごとに「量の見込み」、「確保の内容」、「実施時期」を定めることとされています。

これまで本会議においては、「本庁・支所区域の8区域を基本とした提供区域の設定」「市民意識調査の実施、検証」「本市の子ども・子育て支援の状況の検証」を行い、各事業の目標事業量となる「量の見込み」について取り上げてきました。

今回は、「量の見込み」に対し岡崎市が「いつ」「どのように」取り組んでいくのかを示す「確保の方策」について検討します。



※ 認定区分についての考え方

	1号	2号	3号
対象年齢	満3歳以上の 小学校就学前の子ども		満3歳未満の 小学校就学前の子ども
対象条件	2号認定のこども以外	保護者の就労又は疾病その他の内閣府令で定める事由により家庭において必要な保育を受けることが困難であるもの	
利用定員を設定可能な施設	幼稚園・認定こども園	保育園・認定こども園	
		地域型保育事業	

1 教育・保育の量の見込みと確保の方策

(1) 保育事業の量の見込みと確保の内容

事業名	保育所、認定こども園、地域型保育事業	提供区域	行政区域	
現況概要	●全市域の保育所は53か所 中央地域15か所、岡崎地域5か所、大平地域5か所、東部地域4か所、岩津地域6か所、矢作地域7か所、六ツ美地域6か所、額田地域5か所			
量の見込み	算出方法	3号	0歳	見込の対象となる児童数に対し、利用意向率により算出する。 【①利用意向率】 問15で「3. 認可保育所」～「9. 居宅訪問型保育」のいずれかの回答者÷問15の回答者（除無回答）
			1～2歳	
	2号	3歳以上		
	補正方法	3号	0歳	
		1～2歳	現在も育児休業中、または育児休業中に離職し、現在就労している状況にない者を除いて算出。	
2号		3歳以上	回答者が専業主婦の回答が多いことを加味し、2号認定に相当する幼稚園のニーズ量と保育所及び認定こども園のニーズ量を現況の幼稚園と保育所の利用率にならない家庭類型を調整して算出。	

■利用実績推移

単位(人)

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
<2号認定>	3歳以上	4,944	4,978	4,737	4,912	4,945
<3号認定>	0歳	173	224	232	234	216
	1～2歳	1,546	1,517	1,621	1,739	1,751
保育所利用者	0～5歳	6,663	6,719	6,745	6,885	6,912

■量の見込みと確保の内容<全市>

単位(人)

全体	27年度			28年度			29年度			
	2号	3号		2号	3号		2号	3号		
	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	
①量の見込 (必要利用定員総数)	5,219	239	2,151	5,210	237	2,127	5,161	235	2,107	
②確保の内容	認定こども園・保育所	5,473	280	2,246	5,477	280	2,267	5,557	280	2,267
	地域型保育		0	0		0	0		0	0
②-①	254	41	95	267	43	140	396	45	160	

全体	30年度			31年度			
	2号	3号		2号	3号		
	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	
①量の見込 (必要利用定員総数)	5,074	232	2,092	5,024	229	2,073	
②確保の内容	認定こども園・保育所	5,647	280	2,267	5,737	280	2,267
	地域型保育		0	0		0	0
②-①	573	48	175	713	51	194	

※②確保の内容の利用定員数は、各園の保育室の面積等を基に算出した入所可能数。

■量の見込みと確保の内容<区域別>

単位(人)

中央区域		27年度			28年度			29年度		
		2号		3号	2号		3号	2号		3号
		3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳
①量の見込 (必要利用定員総数)		1,565	67	624	1,575	66	617	1,562	66	611
②確保の内容	認定こども園・ 保育所	1,689	82	720	1,689	82	720	1,749	82	720
	地域型保育		0	0		0	0		0	0
②-①		124	15	96	114	16	103	187	16	109

中央区域		30年度			31年度		
		2号		3号	2号		3号
		3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳
①量の見込 (必要利用定員総数)		1,531	65	607	1,522	64	601
②確保の内容	認定こども園・ 保育所	1,809	82	720	1,869	82	720
	地域型保育		0	0		0	0
②-①		278	17	113	347	18	119

【提供体制の考え方】

○平成26年度の各園における保育室の面積を基に算出した利用可能な定員数による対応

○平成29年度 梅園幼稚園・広幡幼稚園 認定こども園移行

2号定員(29年度60人、30年度120人、31年度180人)

単位(人)

岡崎区域		27年度			28年度			29年度		
		2号		3号	2号		3号	2号		3号
		3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳
①量の見込 (必要利用定員総数)		894	41	387	923	40	383	908	40	379
②確保の内容	認定こども園・ 保育所	598	29	246	598	29	246	598	29	246
	地域型保育		0	0		0	0		0	0
②-①		▲296	▲12	▲141	▲325	▲11	▲137	▲310	▲11	▲133

岡崎区域		30年度			31年度		
		2号		3号	2号		3号
		3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳
①量の見込 (必要利用定員総数)		880	40	376	846	39	373
②確保の内容	認定こども園・ 保育所	598	29	246	598	29	246
	地域型保育		0	0		0	0
②-①		▲282	▲11	▲130	▲248	▲10	▲127

【提供体制の考え方】

○平成26年度の各園における保育室の面積を基に算出した利用可能な定員数による対応

○岡崎区域はエリアが狭く、現状において、区域内児童の32%が隣接する中央・大平・六ツ美区域等の保育園へ入園しているため、隣接区域の保育園で提供体制を確保。

単位(人)

大平区域		27年度			28年度			29年度		
		2号		3号	2号		3号	2号		3号
		3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳
①量の見込 (必要利用定員総数)		392	17	151	379	17	149	375	17	148
②確保の内容	認定こども園・ 保育所	530	25	225	530	25	225	530	25	225
	地域型保育		0	0		0	0		0	0
②-①		138	8	74	151	8	76	155	8	77

大平区域		30年度			31年度		
		2号		3号	2号		3号
		3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳
①量の見込 (必要利用定員総数)		375	16	146	383	16	145
②確保の内容	認定こども園・ 保育所	530	25	225	530	25	225
	地域型保育		0	0		0	0
②-①		155	9	79	147	9	80

【提供体制の考え方】

○平成26年度現在の定員数で対応可

単位(人)

東部区域		27年度			28年度			29年度		
		2号		3号	2号		3号	2号		3号
		3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳
①量の見込 (必要利用定員総数)		241	9	86	227	9	85	225	9	84
②確保の内容	認定こども園・ 保育所	250	16	144	250	16	144	250	16	144
	地域型保育		0	0		0	0		0	0
②-①		9	7	58	23	7	59	25	7	60

東部区域		30年度			31年度		
		2号		3号	2号		3号
		3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳
①量の見込 (必要利用定員総数)		212	9	84	212	9	83
②確保の内容	認定こども園・ 保育所	250	16	144	250	16	144
	地域型保育		0	0		0	0
②-①		38	7	60	38	7	61

【提供体制の考え方】

○平成26年度現在の定員数で対応可

○平成30年度 山中保育園(建替え)定員未定

単位(人)

岩津区域		27年度			28年度			29年度		
		2号		3号	2号		3号	2号		3号
		3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳
①量の見込 (必要利用定員総数)		732	31	301	727	31	298	731	31	295
②確保の内容	認定こども園・ 保育所	744	31	287	748	31	298	748	31	298
	地域型保育		0	0		0	0		0	0
②-①		12	0	▲14	21	0	0	17	0	▲3

岩津区域		30年度			31年度		
		2号		3号	2号		3号
		3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳
①量の見込 (必要利用定員総数)		718	30	293	718	30	290
②確保の内容	認定こども園・ 保育所	748	31	298	748	31	298
	地域型保育		0	0		0	0
②-①		30	1	5	30	1	8

【提供体制の考え方】

- 平成26年度の各園における保育室の面積を基に算出した利用可能な定員数による対応
- 平成27年度 大門保育園(建替え) 定員変更(130人→180人)
- 平成28年度 百々保育園(建替え) 定員変更(1・2歳 11人増)

単位(人)

矢作区域		27年度			28年度			29年度		
		2号		3号	2号		3号	2号		3号
		3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳
①量の見込 (必要利用定員総数)		775	43	344	745	43	340	731	42	337
②確保の内容	認定こども園・ 保育所	747	49	337	747	49	347	767	49	347
	地域型保育		0	0		0	0		0	0
②-①		▲28	6	▲7	2	6	7	36	7	10

矢作区域		30年度			31年度		
		2号		3号	2号		3号
		3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳
①量の見込 (必要利用定員総数)		729	42	335	726	41	332
②確保の内容	認定こども園・ 保育所	797	49	347	827	49	347
	地域型保育		0	0		0	0
②-①		68	7	12	101	8	15

【提供体制の考え方】

- 平成26年度の各園における保育室の面積を基に算出した利用可能な定員数による対応
- 平成28年度 渡保育園(建替え) 定員変更 140人→150人(1・2歳 10人増)
- 平成29年度 矢作幼稚園 認定こども園移行 2号(H29:20人、H30:50人、H31:80人)

単位(人)

六ッ美区域		27年度			28年度			29年度		
		2号	3号		2号	3号		2号	3号	
		3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳
①量の見込 (必要利用定員総数)		542	29	237	557	29	234	552	28	232
②確保の内容	認定こども園・ 保育所	720	39	251	720	39	251	720	39	251
	地域型保育		0	0		0	0		0	0
②-①		178	10	14	163	10	17	168	11	19

六ッ美区域		30年度			31年度		
		2号	3号		2号	3号	
		3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳
①量の見込 (必要利用定員総数)		551	28	230	545	28	228
②確保の内容	認定こども園・ 保育所	720	39	251	720	39	251
	地域型保育		0	0		0	0
②-①		169	11	21	175	11	23

【提供体制の考え方】

○平成26年度の各園における保育室の面積を基に算出した利用可能な定員数で対応可

単位(人)

額田区域		27年度			28年度			29年度		
		2号	3号		2号	3号		2号	3号	
		3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳
①量の見込 (必要利用定員総数)		78	2	21	77	2	21	77	2	21
②確保の内容	認定こども園・ 保育所	195	9	36	195	9	36	195	9	36
	地域型保育		0	0		0	0		0	0
②-①		117	7	15	118	7	15	118	7	15

額田区域		30年度			31年度		
		2号	3号		2号	3号	
		3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳
①量の見込 (必要利用定員総数)		78	2	21	72	2	21
②確保の内容	認定こども園・ 保育所	195	9	36	195	9	36
	地域型保育		0	0		0	0
②-①		117	7	15	123	7	15

【提供体制の考え方】

○平成26年度現在の定員数で対応可

(2)教育事業の量の見込みと確保の内容

事業名	幼稚園、認定こども園	提供区域	市全域	
現況概要	●全市域の幼稚園は 25 か所 ・中央地域 9 か所、岡崎地域 2 か所、大平地域 2 か所、東部地域 2 か所、岩津地域 3 か所、矢作地域 5 か所、六ッ美地域 2 か所 ・額田地域 2 か所（認定こども園）			
量の見込み	算出方法	1号	3歳以上	見込の対象となる児童数に対し、利用意向率により算出する。 【①利用意向率】 問 15 で「1. 幼稚園」「4. 認定こども園」のいずれかの回答者÷問 15 の回答者（除無回答）
		2号	3歳以上	見込の対象となる児童数に対し、利用意向率により算出する。 【①利用意向率】 問 14-1 で「1. 幼稚園」の回答者÷問 14-1 の回答者（除無回答）
	補正方法	1号	3歳以上	下記の 2 号認定の補正による内容に合わせて調整される。
		2号	3歳以上	回答者が専業主婦の回答が多いことを加味し、2号認定に相当する幼稚園のニーズ量と保育所及び認定こども園のニーズ量を現況の幼稚園と保育所の利用率にならない家庭類型を調整して算出。

■利用実績推移（各年度5月1日現在の利用実績）

単位(人)

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
幼稚園利用者数	3歳以上	5,369 (5,427)	5,390 (5,448)	5,476 (5,538)	5,568 (5,642)	5,655 (5,738)

※（ ）内は市外利用の幼稚園を含めた数

■量の見込みと確保の内容<全市>

単位(人)

全体		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		1号・2号	1号・2号	1号・2号	1号・2号	1号・2号
		3-5歳	3-5歳	3-5歳	3-5歳	3-5歳
①量の見込 (必要利用定員総数)		5,874	5,863	5,808	5,711	5,654
②確保の内容	幼稚園・ 認定こども園	6,263	6,263	6,183	6,093	6,003
②-①		389	400	375	382	349

【提供体制の考え方】

○市立幼稚園 3園

平成 28 年度まで 520 人

※平成 29 年度から認定こども園移行（予定）

1号定員 29年度 440人、30年度 350人、31年度 260人

(2号定員 29年度 80人、30年度 170人、31年度 260人)

○私立幼稚園 22園 5,673人

○認定こども園 2園（額田） 70人

<参考>

■量の見込みと確保の内容<区域別>

単位(人)

区域		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		1号・2号 3-5歳	1号・2号 3-5歳	1号・2号 3-5歳	1号・2号 3-5歳	1号・2号 3-5歳
中央区域	①量の見込 (必要利用定員総数)	1,761	1,773	1,757	1,722	1,713
	②確保 の内容	1,940	1,940	1,880	1,820	1,760
	②-①	179	167	123	98	47
岡崎区域	①量の見込 (必要利用定員総数)	1,006	1,039	1,022	991	951
	②確保 の内容	610	610	610	610	610
	②-①	▲396	▲429	▲412	▲381	▲341
大平区域	①量の見込 (必要利用定員総数)	441	427	423	422	432
	②確保 の内容	640	640	640	640	640
	②-①	199	213	217	218	218
東部区域	①量の見込 (必要利用定員総数)	271	255	254	238	239
	②確保 の内容	520	520	520	520	520
	②-①	249	265	266	282	281
岩津区域	①量の見込 (必要利用定員総数)	825	818	822	809	808
	②確保 の内容	816	816	816	816	816
	②-①	▲9	▲2	▲6	7	8
矢作区域	①量の見込 (必要利用定員総数)	872	838	823	820	817
	②確保 の内容	1,077	1,077	1,057	1,027	997
	②-①	205	239	234	207	180
六ツ美区域	①量の見込 (必要利用定員総数)	610	626	621	621	613
	②確保 の内容	590	590	590	590	590
	②-①	▲20	▲36	▲31	▲31	▲23
額田区域	①量の見込 (必要利用定員総数)	88	87	86	88	81
	②確保 の内容	70	70	70	70	70
	②-①	▲18	▲17	▲16	▲18	▲11

2 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保の方策

事業名	時間外保育事業	提供区域	行政区域
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●通常保育時間（8時～16時）を超える保育ニーズに対応したサービスを提供する事業 ●延長保育は延長A（16時～17時30分）、B（7時～8時、16時～19時）、C（7時～8時、16時～22時）の3種 ●延長保育Aは53か所、延長保育Bは36か所、延長保育Cは1か所 ●延長Bは利用実績が毎年増加傾向にあり、平成25年度は、平成21年度に比べ約1.2倍以上の増加となっており、全入所児童数の約30%の児童が利用しています。 		
量の見込み	対象	0～5歳以下の家庭のみ	
	算出方法	見込の対象となる児童数に対し、利用意向率により算出する。 【①利用意向率】 問15で「3. 認可保育所」～「9. 居宅訪問型保育」のいずれかの回答者かつ、問14-2（2）で保育の利用希望が18時以降の回答者÷問15の回答者（除無回答）かつ問14-2（2）の回答者（除無回答）	
	補正方法	時間外利用が想定されるフルタイムの共働き世帯に限定して算出	

■利用実績推移

単位(人)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
年間延べ利用者数 (延長BとCの合計)	1,638	1,788	1,835	1,991	2,000

■量の見込みと確保の内容<全市>

単位(人)

全体	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込	2,510	2,496	2,474	2,442	2,417
②確保の内容 (確保量は各施設定員の5割として設定)	3,220 (39園)	3,220 (39園)	3,220 (39園)	3,220 (39園)	3,220 (39園)
②-①	710	724	746	778	803

【提供体制の考え方】

- 延長B・C実施園の入所定員×50%で算出
- 延長B未実施園（平成26年度現在）
井田・六名南・福岡・緑丘・竜谷・藤川・岩松・中園・矢作西・島坂・六ツ美北・六ツ美南・六ツ美・豊富第二・宮崎・下山保育園（公立16園）、大門保育園（私立1園）
- 延長B実施予定
平成27年度 新規に3園で実施予定 計39園／53園
以降、利用状況等を踏まえ最大42園で実施予定

※ 地区子育て支援センター実施園、障がい児指定園、同一小学校区内の保育所で他に実施している場合、利用定員が100人未満の園を除く

■量の見込みと確保の内容<区域別>

単位(人)

		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
中央区域	①量の見込	733	735	728	719	715
	②確保の内容	1,145 (14園)	1,145 (14園)	1,145 (14園)	1,145 (14園)	1,145 (14園)
	②-①	412	410	417	426	430
岡崎区域	①量の見込	433	432	425	415	404
	②確保の内容	360 (4園)	360 (4園)	360 (4園)	360 (4園)	360 (4園)
	②-①	▲73	▲72	▲65	▲55	▲44
大平区域	①量の見込	188	186	185	184	185
	②確保の内容	330 (4園)	330 (4園)	330 (4園)	330 (4園)	330 (4園)
	②-①	142	144	145	146	145
東部区域	①量の見込	109	105	104	100	98
	②確保の内容	140 (2園)	140 (2園)	140 (2園)	140 (2園)	140 (2園)
	②-①	31	35	36	40	42
岩津区域	①量の見込	344	343	344	340	339
	②確保の内容	455 (5園)	455 (5園)	455 (5園)	455 (5園)	455 (5園)
	②-①	111	112	111	115	116
矢作区域	①量の見込	394	385	380	377	374
	②確保の内容	355 (4園)	355 (4園)	355 (4園)	355 (4園)	355 (4園)
	②-①	▲39	▲30	▲25	▲22	▲19
六ツ美区域	①量の見込	274	276	274	273	270
	②確保の内容	360 (4園)	360 (4園)	360 (4園)	360 (4園)	360 (4園)
	②-①	86	84	86	87	90
額田区域	①量の見込	35	34	34	34	32
	②確保の内容	75 (2園)	75 (2園)	75 (2園)	75 (2園)	75 (2園)
	②-①	40	41	41	41	43

事業名	一時預かり事業	提供区域	幼稚園：市全域 保育園：行政区域
事業内容	<p>●保育園での、保護者の就労、疾病、出産または育児疲れの解消などのための、一時的な子どもの保育を実施している事業（保育園では市内 17 か所）</p> <p>●私立幼稚園での、通常の教育時間後や長期休業中などに、保護者の希望に応じて、預かり保育を実施している事業（私立幼稚園では市内 15 園）</p> <p>●保育園の利用実績は年々増加傾向にあり、平成 24 年度は、対平成 21 年度比約 45% 増となっています。中央区域、岩津区域、矢作区域で利用が多くなっています。</p>		
量の 見 込 み	対象	<p>幼稚園の一時預かり（1号利用と2号利用）：3～5歳以下家庭のみ</p> <p>その他（保育園）：0～2歳以下の家庭のみ</p>	
	算出 方法	<p>●1号利用 見込の対象となる児童数に対し、＜ア＞と＜イ＞の割合をかけた利用意向率と利用意向日数を掛け合わせて算出。</p> <p>【①利用意向率 ＜ア＞】 問 15 で「1. 幼稚園」「4. 認定こども園」のいずれかの回答者かつ問 22 で「1. 利用したい」の回答者÷問 15 の回答者（除無回答）かつ問 22 の回答者（除無回答）</p> <p>【①利用意向率 ＜イ＞】 問 14-1 で「1. 幼稚園」の回答者かつ問 21 で「1. 一時預かり」または「2. 幼稚園の預かり保育」の回答者÷問 14-1 の回答者（除無回答）かつ問 21 で「1. 一時預かり」～「4. その他」の回答者</p> <p>【②利用意向日数】 問 22 で「1. 利用したい」の回答者の日数について回答した者での平均日数</p>	
		<p>●2号利用 見込の対象となる児童数に対し、利用意向率と利用意向日数を掛け合わせて算出。</p> <p>【①利用意向率】 1.0 で固定</p> <p>【②利用意向日数】 幼稚園等の利用希望が高いと想定される者の問 11（1）—1 の1週あたりの就労日数×52週（1年間）</p>	
		<p>●その他（未就学児のファミリーサポート事業利用を含む） 見込の対象となる児童数に対し、利用意向率と利用意向日数を掛け合わせて算出する。</p> <p>【①利用意向率】 問 22 で「1. 利用したい」の回答者÷問 22 の回答者（除無回答）</p> <p>【②利用意向日数】 問 22 で「1. 利用したい」の回答者の日数について回答した者での平均日数</p>	
補正 方法	<p>●1号利用 国の手引きに準じて算出。</p> <p>●2号利用 現在幼稚園を利用しており、利用希望としても引き続き幼稚園を利用したいとする学校教育の利用希望が極めて高い者で算出。</p> <p>●その他 利用意向率については0～2歳で保育サービス利用者を除き、かつ、利用の必要性が低いと思われる日常的に預けられる親族・友人がいる人を除いて算出。利用意向日数は利用意向率の補正に準ずるとともに、現況の利用状況（1人あたりの平均利用 14日）からして過剰な利用意向日数となるものは現況の利用日数に合わせて算出。</p>		

■利用実績推移

単位(人日)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
幼稚園における在園児を対象とした一時預かり					122,200 (470)
その他(保育園)	3,946	4,530	5,339	5,716	5,528

■量の見込みと確保の内容<全市>

単位(人日)

全体		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
幼稚園における在園児を対象とした一時預かり	①量の見込	183,762	183,431	181,704	178,658	176,883
	②確保の内容	114,075 (15園)	114,075 (15園)	181,675 (18園)	181,675 (18園)	181,675 (18園)
	②-①	▲69,687	▲69,356	▲29	3,017	4,792
その他(保育園)	①量の見込	5,908	5,849	5,802	5,751	5,689
	②確保の内容	18,720 (18園)	19,760 (19園)	19,760 (19園)	19,760 (19園)	19,760 (19園)
	②-①	12,812	13,911	13,958	14,009	14,071

【提供体制の考え方】

○幼稚園 平成27年度 私立幼稚園 15園で実施

<10園> $387 \text{人} \times 5 \text{日} \times 52 \text{週} = 100,620 \text{人日}$ (現況値)

<5園> $69 \text{人} \times 5 \text{日} \times 39 \text{週} = 13,455 \text{人日}$ (現況値)

平成29年度 市立幼稚園 3園(梅園・広幡・矢作)の認定こども園化にあわせ実施

1号定員 $260 \text{人} \times 5 \text{日} \times 52 \text{週} = 67,600 \text{人日}$

○保育園 平成27年度 岩津地区 1園増(大門保育園)

$18 \text{園} \times 4 \text{人/日} \times (5 \text{日} \times 52 \text{週}) = 18,720 \text{人日}$

平成28年度 矢作地区 1園増(渡保育園)

$19 \text{園} \times 4 \text{人/日} \times (5 \text{日} \times 52 \text{週}) = 19,760 \text{人日}$

■量の見込みと確保の内容<区域別>

○その他(保育園)

単位(人日)

区域		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
中央区域	①量の見込	1,717	1,707	1,697	1,693	1,682
	②確保の内容	4,160 (4園)	4,160 (4園)	4,160 (4園)	4,160 (4園)	4,160 (4園)
	②-①	2,443	2,453	2,463	2,467	2,478
岡崎区域	①量の見込	1,039	996	983	968	952
	②確保の内容	3,120 (3園)	3,120 (3園)	3,120 (3園)	3,120 (3園)	3,120 (3園)
	②-①	2,081	2,124	2,137	2,152	2,168
大平区域	①量の見込	427	437	433	429	424
	②確保の内容	1,040 (1園)	1,040 (1園)	1,040 (1園)	1,040 (1園)	1,040 (1園)
	②-①	613	603	607	611	616
東部区域	①量の見込	218	218	213	208	202
	②確保の内容	1,040 (1園)	1,040 (1園)	1,040 (1園)	1,040 (1園)	1,040 (1園)
	②-①	822	822	827	832	838
岩津区域	①量の見込	793	793	791	789	785
	②確保の内容	4,160 (4園)	4,160 (4園)	4,160 (4園)	4,160 (4園)	4,160 (4園)
	②-①	3,367	3,367	3,369	3,371	3,375
矢作区域	①量の見込	986	982	971	961	950
	②確保の内容	2,080 (2園)	3,120 (3園)	3,120 (3園)	3,120 (3園)	3,120 (3園)
	②-①	1,094	2,138	2,149	2,159	2,170
六ツ美区域	①量の見込	674	667	663	657	649
	②確保の内容	2,080 (2園)	2,080 (2園)	2,080 (2園)	2,080 (2園)	2,080 (2園)
	②-①	1,406	1,413	1,417	1,423	1,431
額田区域	①量の見込	54	49	47	46	45
	②確保の内容	1,040 (1園)	1,040 (1園)	1,040 (1園)	1,040 (1園)	1,040 (1園)
	②-①	986	991	993	994	995

事業名	地域子育て支援拠点事業	提供区域	市全域
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●就園前の子どもを持つ子育て家庭の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場を提供する事業 ●岡崎げんき館及び地域交流センターで実施する「つどいの広場」(岡崎げんき館・北部・南部・西部・東部地域交流センター)(5か所) ●城北保育園に併設している「総合子育て支援センター」(1か所) ●特定の保育園で実施している「地区子育て支援センター」(福岡・島坂・藤川・岩松・豊富第二)(5か所) ●「つどいの広場」の施設整備に伴い、利用実績は年々増加傾向にあります。 		
量の 見 込 み	対象	0～2歳以下の家庭のみ	
	算出 方法	見込の対象となる児童数に対し、利用意向率と利用意向回数を掛け合わせて算出。 【①利用意向率】 問16で「1. 地域子育て支援拠点事業を利用している」の回答者と、問17で「1. 利用していないが、今後利用したい」の回答者÷問16の回答者(除無回答)と問17の回答者(除無回答) 【②利用意向回数】 問16で「1. 地域子育て支援拠点事業を利用している」の回答者の利用回数と問17で「1. 利用していないが、今後利用したい」か「2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の回答者の回数について回答した者での平均回数	
	補正 方法	国の手引きに準じて算出。	

■利用実績推移

単位(人日)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
つどいの広場	96,765	104,474	103,598	126,187	133,772
総合子育て支援センター 地区子育て支援センター	33,113	35,684	36,760	38,036	32,329
年間延べ利用者数	129,878	140,158	140,358	164,223	166,101

■量の見込みと確保の内容<全市>

単位(人日)

全体	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込	208,044	205,992	204,312	202,536	200,388
②確保の内容 (子育て支援センター、つどいの広場)	208,044 (12か所)	205,992 (12か所)	204,312 (12か所)	202,536 (12か所)	200,388 (12か所)
②-①	0	0	0	0	0

【提供体制の考え方】

○子育て支援センター 6か所

○つどいの広場 6か所

平成27年度～ 南部地域交流センター六ツ美分館で実施予定

事業名	利用者支援事業	提供区域	市全域
事業内容	●子どもまたは保護者の子育て支援センターなどの身近な場所において、教育・保育施設や地域の子育て支援事業などの情報提供や必要に応じた相談・助言を行い、関係機関との連絡調整等を実施する事業 ●新規事業であり、事業の実施方法など検討しながら、実施していきます。		
量の 見 込 み	対象	主に未就学児（0～2歳）家庭	
	算出方法	独自に設定、地域子育て支援拠点施設等に配置を検討	
	補正方法		

■利用実績推移

単位(人日)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
区域合計	実績なし				

■量の見込みと確保の内容<全市>

単位(施設)

全体	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込	0	1	1	1	1
②確保の内容	0	1	1	1	1
②-①	0	0	0	0	0

【提供体制の考え方】

○実施予定箇所

平成28年度～ 総合子育て支援センターで実施予定

以降、利用状況、施設環境などを勘案して、地域子育て支援拠点での実施を検討していく。

事業名	病児・病後児保育事業	提供区域	市全域
事業内容	●病気の回復期の子どもが、まだ保育所・小学校等に通えなかったり、保護者の都合で保育できない場合に子どもを一時的に預かる事業 ●八帖保育園、げんき館の2か所 ●利用実績は年度によってばらつきがあります。		
量の見込み	対象	0～5歳以下家庭のみ	
	算出方法	見込の対象となる児童数に対し、病児・病後児の発生頻度と利用意向日数を掛け合わせて算出する。 【①病児・病後児の発生頻度】 問20-1で「ア. 父親が休んだ」または「イ. 母親が休んだ」のいずれかの回答者かつ問20-2で「1. できれば、病児・病後児保育施設などを利用したい」との回答者と、問20-1で「オ. 病児・病後児の保育を利用した」「キ. ファミリー・サポート・センターを利用した」「ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」のいずれかに回答した者を合わせた数÷問20 通常の教育・保育の利用ができなかったことの有無の回答者（除無回答） 【②利用意向日数】 上記条件を満たす者の利用日数の総計を合算した数÷問20-1、問20-2の回答者数（延べでなく実人数、両方回答している人は1人数える）	
	補正方法	対処方法として、父親か母親のいずれかが休みをとっている家庭において、病児・病後児保育施設などを利用したいという意向がある者で、かつ、身近にみてもらえる親族などがいないとする人に限定する。また、ファミリー・サポート・センターの利用対応や仕方なく子どもだけで留守番させた者は除いて算出。	

■利用実績推移

単位(人日)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
年間延べ利用者数	8	15	23	19	8

■量の見込みと確保の内容<全市>

単位(人日)

全体	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込	299	297	294	291	288
②確保の内容 (病後児保育施設)	2,080 (2か所)	2,080 (2か所)	2,080 (2か所)	2,080 (2か所)	2,080 (2か所)
②-①	1,781	1,783	1,786	1,789	1,792

【提供体制の考え方】

○病後児保育

【定員】岡崎げんき館4人、八帖保育園4人(認可保育所利用者のみ)

【提供可能量】8人/日×(52週×5日)=2,080人

○病児保育

病状の発症期にある児童に急な容体の変化があった場合に、迅速な対応が可能な医療機関併設型の病児保育施設の設置について検討を進める。

事業名	放課後児童健全育成事業	提供区域	小学校区
事業内容	<p>●保護者が就労しているなどの理由で、留守家庭となる子どもの居場所を確保するため、小学校を対象に児童育成センター（34 か所）、民間の児童クラブ（9 か所）において実施しています。</p> <p>●平成 22 年 4 月に民営 2 クラブ、6 月に公営 1 クラブが設置され、平成 23 年度以降利用の増加につながっています。法改正により 4 年生以上の高学年も利用対象に明確に位置づけられたことや女性の就労状態の変化、子どもを取り巻く社会環境の安全面への不安などから、今後の利用の増加が見込まれます。</p>		
量の 見 込 み	対象	6 歳～11 歳家庭のみ	
	算出 方法	<p>就学児を対象とした調査の結果を利用。</p> <p>【低学年】 就学児保護者（小学 1～3 年生）への調査結果を使用 ① 問 21 で「4. 放課後児童クラブ」の回答者÷問 21 の回答者数（除無回答） ② H27～31 年度の推計児童数（6～8 歳）に①の割合を乗じ、見込み量を算出。 ※意向率 16.7% ただし、現状と意向率が乖離していると判断される学区（井田学区始め 6 学区）については、平成 26 年度実績の利用意向率を乗じて算出</p> <p>【高学年】 就学児保護者（小学 3 年生）への調査結果を使用 ① 問 22 で「4. 放課後児童クラブ」の回答者÷問 22 の回答者数（除無回答） ② H27～31 年度の推計児童数（9 歳）に①の割合を乗じ、見込みを算出。 ※意向率 11.2%</p>	
	補正 方法	独自の算出方法 （国の手引きに準じて算出した場合、実態と大きく乖離した数値となるため。）	

■利用実績推移

単位(人)

		21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
年間延べ 利用者数	低学年	1,627	1,628	1,644	1,713	1,829
	高学年	112	107	173	200	218
年間延べ利用者数		1,739	1,735	1,817	1,913	2,047

■量の見込みと確保の内容<全市>

単位(人)

		27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
①量の見込	低学年	2,055	2,057	2,075	2,094	2,098
	高学年	386	403	407	397	404
	合計	2,441	2,460	2,482	2,491	2,502
②確保の内容		1,768	2,003	2,168	2,348	2,382
③放課後子ども教室対応		34	71	98	106	120
(②+③)-①		-639	-386	-216	-37	0

※ 学区ごとの値は別紙のとおり

【提供体制の考え方】

全市的に事業供給量が不足している現状です。待機児童が多く生じると予想される学区や老朽化した施設を活用しているクラブのある学区など、合計 18 クラブの新設を予定しています。

計画の中間年度である平成 29 年度までに低学年の受け入れ量を確保し、高学年については平成 29 年度までに見込み量について再検討し、平成 31 年度までに受け入れ量を確保できるように整備を進めていきます。

見込み量の少ない小学校区や定員を少し上回る学区（15人程度）については、放課後子ども教室事業との連携により、児童の居場所の確保を進めていきます。

- 【整備計画】 平成27年度：根石、竜美丘、井田、大樹寺、六ツ美西部、豊富学区
平成28年度：梅園、岡崎、広幡、矢作南、六ツ美北部学区
平成29年度：男川、細川、矢作北、北野、六ツ美南部学区
平成30年度：羽根、常磐学区

※ 平成31年度までに放課後子ども教室事業を全47学区で実施予定。

- 【整備計画】 平成26年度までに開設済 15学区
平成27年度 6学区（梅園、男川、岡崎、竜美丘、矢作北、六ツ美北部）
平成28年度 7学区（美合、緑丘、羽根、広幡、岩津、小豆坂、北野）
平成29年度 5学区（三島、連尺、常磐南、秦梨、竜谷）
平成30年度 5学区（六名、大門、本宿、矢作西、上地）
平成31年度 9学区（山中、藤川、六ツ美中部、城南、豊富、形埜、宮崎、夏山、下山）

事業名	子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業)	提供 区域	市全域
事業 内容	<p>●育児の援助を行いたい人と援助を受けたい人を会員として組織化し、相互援助活動の紹介を行う事業です。</p> <p>●事務局：総合子育て支援センター（1か所）</p> <p>●利用状況は依頼会員、援助会員ともに増加傾向にあり、利用実績も増えています。就学前児童の利用に関しては、5年間で約2倍に増加しています。小学生の利用に関しては、「帰宅後の預かり」が減少し、送迎のニーズが増えている傾向がみられます。</p>		
量 の 見 込 み	対象	<p>【就学前児童】0歳～5歳家庭</p> <p>【小学生】6歳～11歳家庭のみ</p>	
	算出 方法	<p>【就学前児童】就学前児童保護者の7.7%に利用意向があり、現在利用している保護者の平均利用日数（6日/年）を乗じて算出</p> <p>【小学生】予定児童数に過去5年間で利用実績の高かった平成22年度の児童ひとりあたりの利用実績割合（0.095回）を乗じて算出</p>	
	補正 方法	<p>【就学前児童】日常的・緊急時に祖父母等に見てもらえる人（60.3%）を控除</p> <p>【小学生】独自の算出方法 (国の手引きに準じて算出した場合、実態と大きく乖離した数値となるため。)</p>	

■利用実績推移

単位(人日)

【就学前児童】	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
週平均	37	42	60	69	72
年間延べ利用者数(就学前児童)	1,908	2,172	3,123	3,574	3,761
【参考】就学前児童数(4/1)	22,958	22,914	22,943	23,125	23,241
【小学生】	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
週平均	37	43	42	41	31
年間延べ利用者数(小学生)	1,973	2,208	2,145	2,111	1,566
【参考】小学生児童数(4/1)	23,664	23,438	23,220	22,980	22,721

■量の見込みと確保の内容

単位(人日)

【就学前児童】	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込	6,450	6,407	6,353	6,270	6,208
②確保の内容	6,450	6,407	6,353	6,270	6,208
②-①	0	0	0	0	0
【参考】就学前児童数(推計)	23,140	23,006	22,804	22,512	22,281
【小学生】	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込	2,130	2,144	2,151	2,174	2,175
②確保の内容	2,130	2,144	2,151	2,174	2,175
②-①	0	0	0	0	0
【参考】小学生児童数(推計)	22,422	22,564	22,644	22,884	22,896

【提供体制の考え方】

小学生の利用については、放課後児童健全育成事業などの広がりもあり若干減少傾向にあります。一定量のニーズが今後も継続してみられるため、援助会員の募集に努め、提供体制を維持し、事業を継続していきます。

事務局	総合子育て支援センター	1 か所
会員数	依頼会員	1,000 人
	援助会員	157 人
	両会員	104 人（平成 25 年度）

事業名	子育て短期支援事業（ショートステイ）	提供区域	市全域
事業内容	<p>●保護者による養育が一時的に困難になった場合に、1週間以内（宿泊を伴う）を原則として児童養護施設等で児童の養育・保護を提供する事業</p> <p>●岡崎平和学園、米山寮（プティヴィラージュ、ひよこハウス）、梅ヶ丘学園、豊橋ひかり乳児院の5か所で実施</p> <p>●利用日数及び利用者数は、年度によって異なっている状況です。臨時的需要の事業であるものの、一定の利用ニーズがあります。</p>		
量の 見 込 み	対象	18歳未満の子をもつ家庭	
	算出 方法	利用対象は実状に合わせ小学生までを想定 過去5年間で利用の多くあった平成25年度の実績（1人あたり0.002日）をもとに、各年度の小学生までの推計人口に照らし合わせ算出	
	補正 方法	独自算出（国の手引きによる算出方法では有意な結果が得られないため）	

■利用実績推移

単位(人日)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
年間延べ利用者数	46	61	91	57	91
【参考】小学生以下の人口	46,632	46,357	46,174	46,112	45,972

■量の見込みと確保の内容

単位(人日)

全体	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込	91	91	91	91	90
②確保の内容	91	91	91	91	90
②-①	0	0	0	0	0
【参考】小学生以下の人口	45,562	45,570	45,448	45,396	45,177

【確保の内容(提供体制)】

児童福祉施設への委託※

実施場所：児童養護施設（プティヴィラージュ、岡崎平和学園、梅ヶ丘学園）

乳児院（ひよこハウス、豊橋ひかり乳児院）

実施時期：通年実施

実施体制：保護者の状況やニーズを面接により把握

一時預かり、ファミリー・サポート、児童相談所の一時保護等も含め児童にとって最善のサービスを判断

保護者への利用手続き説明後、登録及び利用申請書の提出により施設と日程調整

子どもの状況等を伝え、保護委託を実施

実施機関：こども部家庭児童課

事業名	乳児家庭全戸訪問事業	提供区域	市全域
事業内容	<p>●生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報の提供並びに親子の心身の状況や養育環境などの把握及び助言を行う事業（こんにちは赤ちゃん事業）</p> <p>●訪問率は平成24年度以降、98%以上で推移している。また、未訪問家庭の追跡調査や他事業との連携（3歳児健診未受診・未就園児童を対象とする家庭訪問・保育園巡回）により、子どもの養育状況の把握に努めている</p>		
量の 見 込 み	対象	ニーズ調査対象外（国の手引きによる指定なし）	
	算出 方法	独自算出	
	設定 方法	0歳児の推計人口に保健所が事前に把握できた新生児、低出生体重児及びハイリスク家庭等への母子保健指導件数の実績を考慮して算出	

■利用実績推移

単位(人)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
訪問員による訪問対象乳児数	2,713	3,494	3,497	3,390	3,205
訪問実施済数	2,640	3,390	3,408	3,327	3,157
訪問率	97.3%	97.0%	97.5%	98.1%	98.5%
<参考> 新生児・低体重児訪問数	360	449	520	529	623

※平成21年度は6月から翌3月までの訪問実績

■量の見込みと確保の内容

単位(人)

全体		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
訪問員による 訪問対象乳 児数	①量の見込	3,238	3,213	3,194	3,153	3,111
	②確保の内容	3,238	3,213	3,194	3,153	3,111
	②-①	0	0	0	0	0
訪問率		100%	100%	100%	100%	100%

【確保の内容(提供体制)】

実施体制：こんにちは赤ちゃん訪問員（保育士）6人

実施時期：通年（生後2か月から4か月頃）

実施機関：こども部家庭児童課

事業名	養育支援訪問事業	提供区域	市全域
事業内容	<p>●乳児家庭全戸訪問事業や母子保健事業、関係機関からの連絡等により、養育支援が特に必要と判断した家庭に対し、保健師等がその居宅を訪問し、養育に関する相談・指導、助言や家事援助等を行う</p> <p>●専門職による訪問が必要な世帯は増加傾向にあるが、受入れが難しい世帯が多くなっている。</p>		
量の見込み	対象	ニーズ調査対象外（国の手引きによる指定なし）	
	算出方法	独自算出	
	設定方法	<p>過年度実績から、訪問件数割合を算出</p> <p>H27～31年度の推計児童人口（0歳～小学生児童）に訪問実績件数の割合を乗じて算出</p>	

■利用実績推移

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
専門職訪問 (養育相談等)	対象世帯数	7	14	27	24	7
	延べ回数	72	65	171	118	72
ヘルパー派遣 (家事援助等)	対象世帯数	5	12	7	7	5
	延べ回数	105	159	157	109	105

■量の見込みと確保の内容

全体		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
専門職訪問 (養育相談等)	訪問世帯数	16	16	16	16	16
	延べ訪問回数	98	98	98	98	98
ヘルパー派遣 (家事援助等)	訪問世帯数	7	7	7	7	7
	延べ訪問回数	125	125	125	125	124

【確保の内容(提供体制)】

実施体制：支援の必要性を判断、要保護児童・DV対策協議会等と支援方法を検討

家庭環境に応じた短期集中支援型あるいは中期支援型の支援計画に基づいて実施

- ・保健師等の訪問による育児指導
- ・栄養指導及び養育者の身体的・精神的な悩みに対する相談
- ・ヘルパーの派遣による家事等の援助（委託契約）

実施機関：こども部家庭児童課

事業名	妊婦に対する健診診査（妊婦健診事業）	提供区域	市全域
事業内容	<p>●妊婦と胎児の異常の早期発見により、適正医療に繋がり保健指導を行うことで、安全・安心な出産と健全な育児に臨めるように必要な回数の妊婦健康診査の受診を促し、公費負担を行う</p> <p>●母子保健対策として早期の妊娠届出を重視しており、妊娠 11 週までの届出実績は 18 年度の 64.8%から 25 年度には 94%に増加している</p>		
量の見込み	対象	ニーズ調査対象外（国の手引きによる指定なし）	
	算出方法	独自算出	
	設定方法	<p>・母子健康手帳交付時に一緒に交付する「健康診査受診票」（妊婦健康診査 14 回・子宮頸がん検査 1 回）を安全・安心な出産に必要とされる基準とする。</p> <p>・母子健康手帳の交付時期により、受診回数は変動するため妊娠週数 11 週までの早期交付率等の実績等により健康診査の受診券使用率を係数（0.88）として量の見込みを設定する。</p> <p><参考></p> <p>・妊娠 23 週まで（4 回：月 1 回程度） ・ 24 週～35 週（6 回：2 週間に 1 回程度）</p> <p>・ 36 週～出産まで（4 回：毎週）</p> <p>H21. 2 月～受診回数 14 回（それまでは 7 回）に増。 H22 年度～子宮頸がん検査が追加。</p>	

■利用実績推移

	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
妊娠届出件数	4,073	4,244	3,933	3,851	3,813
（延受診者数）	43,210	51,635	51,624	50,472	49,998

■量の見込みと確保の内容

全体		27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
量の見込み	①対象人数	3,950	3,950	3,950	3,950	3,950
	②受診票(回数)	14	14	14	14	14
	③受診票使用率	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88
健診回数※		49,000	49,000	49,000	49,000	49,000

※ 1,000 回未満切り上げ

【確保方策(提供体制)の考え方】

実施場所：全国医療機関 実施時期：通年実施

実施体制：県内協力医療機関等への委託契約（県外受診は償還払）

検査項目：国が定める基本的な妊婦健康診査項目に下記検査項目を加えて実施

- ・妊娠初期（妊娠 8～10 週）「子宮頸がん検査」
- ・妊娠初期（8 週前後）「HBs 抗原検査」
- ・妊娠後期（30～32 週頃）「HTLV - 1 抗体検査」

確保の方策(放課後児童健全育成事業・学区別)

学校区		H25実績		H27	H28	H29	H30	H31	
梅園	低学年 高学年	62	5	77 16	76 17	71 18	73 15	68 17	センター50 センター50(H29～)
	①合計(量の見込み)	67		93	93	89	88	85	
	②確保の内容			50	50	100	100	100	
	②-①			▲ 43	▲ 43	11	12	15	
根石	低学年 高学年	30	7	70 16	67 13	61 17	57 15	59 11	風の子30 センター50(H28～)
	①合計(量の見込み)	37		86	80	78	72	70	
	②確保の内容			30	80	80	80	80	
	②-①			▲ 56	0	2	8	10	
六名	低学年 高学年	84	7	69 14	72 15	80 13	79 17	78 17	センター50 センター50
	①合計(量の見込み)	91		83	87	93	96	95	
	②確保の内容			100	100	100	100	100	
	②-①			17	13	7	4	5	
三島	低学年 高学年	40	2	29 6	32 5	33 7	37 6	41 7	センター50
	①合計(量の見込み)	42		35	37	40	43	48	
	②確保の内容			50	50	50	50	50	
	②-①			15	13	10	7	2	
連尺	低学年 高学年	54	15	41 9	40 9	39 9	37 8	35 8	センター50 つくし10
	①合計(量の見込み)	69		50	49	48	45	43	
	②確保の内容			60	60	60	60	60	
	②-①			10	11	12	15	17	
広幡	低学年 高学年	68	14	52 12	48 12	53 10	53 11	52 10	センター50 つくし20 センター50(H29～)
	①合計(量の見込み)	82		64	60	63	64	62	
	②確保の内容			70	70	120	120	120	
	②-①			6	10	57	56	58	
井田	低学年 高学年	129		145 21	139 21	136 19	134 19	131 18	センター50 センター50 センター50(H28～)
	①合計(量の見込み)	129		166	160	155	153	149	
	②確保の内容			100	150	150	150	150	
	②-①			▲ 66	▲ 10	▲ 5	▲ 3	1	
愛宕	低学年 高学年	12	3	20 4	18 4	17 4	15 4	13 3	つくし20
	①合計(量の見込み)	15		24	22	21	19	16	
	②確保の内容			20	20	20	20	20	
	②-①			▲ 4	▲ 2	▲ 1	1	4	
常磐南	低学年 高学年			8 1	10 1	12 1	12 2	12 2	
	①合計(量の見込み)	0		9	11	13	14	14	
	②確保の内容			0	0	0	0	0	
	②-①			▲ 9	▲ 11	▲ 13	▲ 14	▲ 14	
常磐東	低学年 高学年			4 0	4 0	5 0	4 0	5 0	
	①合計(量の見込み)	0		4	4	5	4	5	
	②確保の内容			0	0	0	0	0	
	②-①			▲ 4	▲ 4	▲ 5	▲ 4	▲ 5	
常磐	低学年 高学年			28 6	26 6	23 6	20 5	16 5	センター50(H31～)
	①合計(量の見込み)	0		34	32	29	25	21	
	②確保の内容			0	0	0	0	50	
	②-①			▲ 34	▲ 32	▲ 29	▲ 25	29	
竜美丘	低学年 高学年	65		81 17	80 19	81 18	88 16	90 18	センター50 センター50(H28～)
	①合計(量の見込み)	65		98	99	99	104	108	
	②確保の内容			50	100	100	100	100	
	②-①			▲ 48	1	1	▲ 4	▲ 8	
羽根	低学年 高学年	66	11	58 12	58 13	58 13	56 12	58 13	センター50 たけのこ20 センター50(H31～)
	①合計(量の見込み)	77		70	71	71	68	71	
	②確保の内容			70	70	70	70	120	
	②-①			0	▲ 1	▲ 1	2	49	
岡崎	低学年 高学年	65	7	80 10	82 11	83 12	92 10	98 12	センター50 センター50(H29～)
	①合計(量の見込み)	72		90	93	95	102	110	
	②確保の内容			50	50	100	100	100	
	②-①			▲ 40	▲ 43	5	▲ 2	▲ 10	
福岡	低学年 高学年	61	39	55 10	53 13	51 11	53 12	54 11	太陽40 太陽35
	①合計(量の見込み)	100		65	66	62	65	65	
	②確保の内容			75	75	75	75	75	
	②-①			10	9	13	10	10	

学校区		H25実績	H27	H28	H29	H30	H31	
城南	低学年 高学年	35	32 6	35 6	42 6	48 8	53 8	センター50
	①合計(量の見込み)	35	38	41	48	56	61	
	②確保の内容		50	50	50	50	50	
	②-①		12	9	2	▲ 6	▲ 11	
上地	低学年 高学年	94 10	63 13	62 13	65 14	66 14	65 13	センター50 センター50 なかよし30
	①合計(量の見込み)	104	76	75	79	80	78	
	②確保の内容		130	130	130	130	130	
	②-①		54	55	51	50	52	
小豆坂	低学年 高学年	43 6	53 9	54 10	55 11	52 13	51 11	センター50 たけのこ10
	①合計(量の見込み)	49	62	64	66	65	62	
	②確保の内容		60	60	60	60	60	
	②-①		▲ 2	▲ 4	▲ 6	▲ 5	▲ 2	
男川	低学年 高学年	60 2	84 12	82 12	86 12	82 13	83 11	センター50 センター50(H30～)
	①合計(量の見込み)	62	96	94	98	95	94	
	②確保の内容		50	50	50	100	100	
	②-①		▲ 46	▲ 44	▲ 48	5	6	
美合	低学年 高学年	49 5	34 6	30 10	28 6	27 6	27 7	センター50
	①合計(量の見込み)	54	40	40	34	33	34	
	②確保の内容		50	50	50	50	50	
	②-①		10	10	16	17	16	
生平	低学年 高学年		6 1	6 1	5 1	5 1	4 1	
	①合計(量の見込み)	0	7	7	6	6	5	
	②確保の内容		0	0	0	0	0	
	②-①		▲ 7	▲ 7	▲ 6	▲ 6	▲ 5	
秦梨	低学年 高学年		4 0	4 0	4 1	5 0	3 1	
	①合計(量の見込み)	0	4	4	5	5	4	
	②確保の内容		0	0	0	0	0	
	②-①		▲ 4	▲ 4	▲ 5	▲ 5	▲ 4	
緑丘	低学年 高学年	54 6	51 11	52 11	55 10	54 12	51 11	
	①合計(量の見込み)	60	62	63	65	66	62	
	②確保の内容		50	50	50	50	50	
	②-①		▲ 12	▲ 13	▲ 15	▲ 16	▲ 12	
竜谷	低学年 高学年		12 2	11 2	12 1	10 3	9 1	
	①合計(量の見込み)	0	14	13	13	13	10	
	②確保の内容		0	0	0	0	0	
	②-①		▲ 14	▲ 13	▲ 13	▲ 13	▲ 10	
藤川	低学年 高学年	23 3	25 5	25 6	26 4	26 5	25 6	センター50
	①合計(量の見込み)	26	30	31	30	31	31	
	②確保の内容		50	50	50	50	50	
	②-①		20	19	20	19	19	
山中	低学年 高学年	17 1	21 5	22 4	24 4	25 4	24 5	センター50
	①合計(量の見込み)	18	26	26	28	29	29	
	②確保の内容		50	50	50	50	50	
	②-①		24	24	22	21	21	
本宿	低学年 高学年	28 4	29 6	29 6	27 6	26 6	24 7	センター50
	①合計(量の見込み)	32	35	35	33	32	31	
	②確保の内容		50	50	50	50	50	
	②-①		15	15	17	18	19	
奥殿	低学年 高学年		11 2	10 2	9 2	9 1	7 2	
	①合計(量の見込み)	0	13	12	11	10	9	
	②確保の内容		0	0	0	0	0	
	②-①		▲ 13	▲ 12	▲ 11	▲ 10	▲ 9	
恵田	低学年 高学年		5 1	5 1	4 1	3 1	4 0	
	①合計(量の見込み)	0	6	6	5	4	4	
	②確保の内容		0	0	0	0	0	
	②-①		▲ 6	▲ 6	▲ 5	▲ 4	▲ 4	
細川	低学年 高学年	62	73 14	75 14	72 17	70 16	67 16	センター50 センター50(H30～)
	①合計(量の見込み)	62	87	89	89	86	83	
	②確保の内容		50	50	50	100	100	
	②-①		▲ 37	▲ 39	▲ 39	14	17	
岩津	低学年 高学年	48 1	50 9	51 11	52 10	53 11	49 12	センター50
	①合計(量の見込み)	49	59	62	62	64	61	
	②確保の内容		50	50	50	50	50	
	②-①		▲ 9	▲ 12	▲ 12	▲ 14	▲ 11	

学校区			H25実績		H27		H28		H29		H30		H31		
大樹寺	低学年	高学年	40	5	61	12	61	12	59	14	56	14	56	12	あそびば45 センター50(H28～)
	①合計(量の見込み)		45		73		73		73		70		68		
	②確保の内容				45		95		95		95		95		
	②-①				▲ 28		22		22		25		27		
大門	低学年	高学年	55	3	62	14	66	13	70	14	75	13	74	16	センター50 センター50
	①合計(量の見込み)		58		76		79		84		88		90		
	②確保の内容				100		100		100		100		100		
	②-①				24		21		16		12		10		
矢作東	低学年	高学年	54	41	54	9	57	13	59	12	61	10	60	15	あおぞら50 エレメ30
	①合計(量の見込み)		95		63		70		71		71		75		
	②確保の内容				80		80		80		80		80		
	②-①				17		10		9		9		5		
矢作北	低学年	高学年	55	1	67	15	67	15	71	15	76	14	80	15	センター50 センター50(H30～)
	①合計(量の見込み)		56		82		82		86		90		95		
	②確保の内容				50		50		50		100		100		
	②-①				▲ 32		▲ 32		▲ 36		10		5		
矢作西	低学年	高学年	24	4	30	7	33	5	31	8	31	6	30	7	センター50
	①合計(量の見込み)		28		37		38		39		37		37		
	②確保の内容				50		50		50		50		50		
	②-①				13		12		11		13		13		
矢作南	低学年	高学年	83	9	75	15	76	15	74	18	80	15	85	16	センター50 エレメ20 センター50(H29～)
	①合計(量の見込み)		92		90		91		92		95		101		
	②確保の内容				70		70		120		120		120		
	②-①				▲ 20		▲ 21		28		25		19		
北野	低学年	高学年	47	3	58	9	66	10	71	10	75	11	77	14	センター50 センター50(H30～)
	①合計(量の見込み)		50		67		76		81		86		91		
	②確保の内容				50		50		50		100		100		
	②-①				▲ 17		▲ 26		▲ 31		14		9		
六美北	低学年	高学年	55		80	12	81	13	81	15	80	15	90	13	センター50 センター50(H29～)
	①合計(量の見込み)		55		92		94		96		95		103		
	②確保の内容				50		50		100		100		100		
	②-①				▲ 42		▲ 44		4		5		▲ 3		
六美中	低学年	高学年	16	1	27	4	22	7	21	6	20	4	19	3	センター50
	①合計(量の見込み)		17		31		29		27		24		22		
	②確保の内容				50		50		50		50		50		
	②-①				19		21		23		26		28		
六美南	低学年	高学年	65		58	15	57	13	57	13	58	12	57	12	センター50 センター50(H30～)
	①合計(量の見込み)		65		73		70		70		70		69		
	②確保の内容				50		50		50		100		100		
	②-①				▲ 23		▲ 20		▲ 20		30		31		
六美西	低学年	高学年	65		83	13	82	14	83	13	83	14	88	13	センター50 センター50(H28～)
	①合計(量の見込み)		65		96		96		96		97		101		
	②確保の内容				50		100		100		100		100		
	②-①				▲ 46		4		4		3		▲ 1		
豊富	低学年	高学年	21	3	20	4	18	4	17	4	16	3	16	3	センター50 (H28移転)
	①合計(量の見込み)		24		24		22		21		19		19		
	②確保の内容				50		50		50		50		50		
	②-①				26		28		29		31		31		
夏山	低学年	高学年			2	0	2	0	2	0	2	0	1	0	
	①合計(量の見込み)		0		2		2		2		2		1		
	②確保の内容				0		0		0		0		0		
	②-①				▲ 2		▲ 2		▲ 2		▲ 2		▲ 1		
宮崎	低学年	高学年			4	0	4	1	3	0	2	0	2	0	
	①合計(量の見込み)		0		4		5		3		2		2		
	②確保の内容				0		0		0		0		0		
	②-①				▲ 4		▲ 5		▲ 3		▲ 2		▲ 2		
形埜	低学年	高学年			3	1	5	0	5	1	6	0	5	1	
	①合計(量の見込み)		0		4		5		6		6		6		
	②確保の内容				0		0		0		0		0		
	②-①				▲ 4		▲ 5		▲ 6		▲ 6		▲ 6		
下山	低学年	高学年			1	0	2	0	2	0	2	0	2	0	
	①合計(量の見込み)		0		1		2		2		2		2		
	②確保の内容				0		0		0		0		0		
	②-①				▲ 1		▲ 2		▲ 2		▲ 2		▲ 2		